

2014年10月27日

保護者の皆様へ

## 2013年度 学校教育自己評価のご報告

大阪産業大学附属高等学校

校長 大西 陽太郎

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと存じます。平素は本校教育活動に深いご理解とご支援をいただき、感謝しております。

さて、9月26日に文化祭（梧桐祭）、10月3日に体育祭を行いました。梧桐祭では、生徒は模擬店・展示・体育館でのステージなどに創意を凝らして取り組んでいました。体育館ステージを見学されていた保護者の方が「良い雰囲気やね」と話されていたということを知りました。ステージのでき栄えを褒めていただくのも嬉しいものですが、会場の雰囲気を褒めていただいたことは、もっと嬉しいことでした。

体育祭では、開会式での来賓の方の挨拶にも、閉会式での私の講評にも拍手が起こり、国旗・校旗の掲揚・降納の際に校歌が自然発生的に歌われました。そして、競技前に円陣を組んで気合を入れる姿が、あちらこちらで見られました。

梧桐祭、体育祭の様子は、本校ホームページに動画を含めて掲載しています。本校生徒が、元気に明るく学校生活を送っていることを嬉しく思っています。

本校の建学の精神は「偉大なる平凡人たれ」という言葉です。建学の精神「偉大なる平凡人たれ」は、平凡に見られる日常生活をきちんと送っていくことは偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。

本校はクラブ活動が盛んな学校であり、誇るべき成績をたくさん持っています。しかし、本校が誇りにしているのは、クラブ活動の成績とともに、多くの生徒がクラブ活動に参加し、地道にたゆまず努力していることです。例えば、サッカー部は150人を超える部員がいますが、一人ひとりがそれぞれ目標を持ち、地道にたゆまず努力をしています。

日常生活の大切さ、努力の重要さを説く「偉大なる平凡人たれ」の建学の精神は、今、本校の次のような姿に現われています。

挨拶する声が響きあう学校。

夜遅くまで自習室で学習する生徒。

朝早くから自主練習に励むクラブ員。

学校教育法の改正に伴い学校評価が義務付けられ、本校では生徒に「授業を受ける態度と学習についての自己評価・学校生活アンケート」とともに、授業科目ごとの「授業アンケート」に回答を求めています。2013年度のアンケート結果を踏まえて、今後の課題を明らかにします。

## 1. 2013年度 授業アンケートの結果

昨年度3学期に実施した授業アンケートは、高校3年生は卒業式を迎える直前で登校していないので、1年生・2年生を対象に行いました。授業アンケートの全教科平均の結果は、別表の通りです。学校としてはさらにクラス・教科ごとに細かくまとめ、一人ひとりの教員に自らの研鑽の糧となるように担当クラスごとの結果を返すようにしています。

「授業は分かりやすいですか」との問いには、「どちらかという」とを含めると9割近い生徒が肯定的な回答をしています。

「授業は、生徒の疑問や質問にきちんと応えていますか」「授業は、先生の問いに答えたり発表したりするなど参加しやすいものですか」との問いには、「どちらかという」とを含めると、それぞれ9割前後の生徒が肯定的な回答をしています。

しかし一方で、「この教科の内容は理解できますか」との問いには、「だいたい理解できる」を含めても「理解できる」という回答は8割前後に留まっています。これは「この教科の勉強を日常していますか」との問いに、「ときどき」というものを含めても「日常している」という回答が3割台であることの反映であると言えます。

「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

生徒が答えた「学習についての自己評価アンケート」では、「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」との項目に「だいたい」というものを含めると9割近い生徒が肯定的な回答をしています。「生徒が主体的に学習に取り組めるようにしていく」ことについて、生徒の意欲を引き出す指導や、理解の遅れがちな生徒への対策とともに、日常的に宿題や課題を課すことを強めるようにしていきます。

## 2. 2013年度 学校生活アンケートの結果

「学校生活についてのアンケート」で、生徒が「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的な回答をしたパーセントは、2010年度からの4年間について、各項目で次のようになります。

	10年度	11年度	12年度	13年度
この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる。	78%	78%	76%	81%
この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる。	71%	76%	78%	80%
この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている。	80%	80%	83%	86%
この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している。	71%	75%	76%	78%
この学校の生徒は、遅刻しないように努力している。	53%	61%	57%	60%
この学校の生徒は、校則を守っている。	50%	63%	51%	53%
この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる。	75%	74%	74%	77%
この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	78%	76%	78%	83%
私は、進路について目標を持って毎日の学校生活を送っている。	62%	63%	66%	70%

4年間の結果を通して見ると、同じ傾向が見て取れるとともに、変化していく様子を見て取ることができます。

「この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる」「この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる」「この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」という項目で、肯定的な回答が高いパーセントを続けており、一人ひとりを大切に丁寧な指導、進路指導について信頼が寄せられていると言えます。とくに、「この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる」という項目への肯定的な回答は、71%、76%、78%、80%と4年間でさらに9ポイント上昇しており、今後とも生徒への親身な対応を大切にしていきます。

また、「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」「この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる」という項目でも、引き続き肯定的な回答が高いパーセントを示しており、朝の挨拶運動、清掃指導の反映と思われます。

さらに、「この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している」という項目でも、肯定的な回答が高いパーセントを続けており、しかも71%、75%、76%、78%と4年間でさらに7ポイント上昇しています。このことが、クラブ活動への積極的な参加、梧桐祭・体育祭の盛り上がりとなって表れているように思われます。引き続き、積極性を育てる教育をすすめるようにします。

しかし、「この学校の生徒は、遅刻しないように努力している」「この学校の生徒は、校則を守っている」という項目では、肯定的な回答は50パーセント台から60パーセント台前半に留まっており、校則の遵守をはじめ規律ある日常生活を確立する指導を強めるようにしていきます。

授業アンケート、学校生活アンケートに示された生徒の意識に注目して、そこに表れる課題を踏まえて、本校教育の一層の発展を図るようしていきます。